

## 令和6年度 園芸科 総合実習「草花」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	園芸科 1年A組
教科書	草花 (実教出版)	副教材等	総合実習ノート

### 1 学習の到達目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野の改善を図る実践的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	夏花壇用草花苗の育苗・管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サルビア</li> <li>・マリーゴールド</li> <li>・ニチニチソウ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポリポット鉢上げ用の土作りに取り組む。</li> <li>・ポリポットの土詰めに取り組む。</li> <li>・夏花壇用草花の生育と栽培管理を行う。(かん水、置肥、殺虫剤、鉢ずらし等)</li> <li>・3号ポリポットに鉢上げを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習ノート</li> <li>・かん水、追肥と殺虫剤の散布ができる</li> <li>・花苗をポリポットに鉢上げができる</li> <li>・播種ができる</li> <li>・行動観察</li> </ul>
5	ドライフラワー用草花の栽培	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センニチコウ</li> <li>・ニゲラ</li> <li>・カイザイク</li> <li>・カスミソウ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校で栽培するドライフラワー用の草花について基本的な知識を知る。</li> <li>・各種子について、セルトレイ等に播種を行う。</li> </ul>	
6	5 ひまわりの栽培	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひまわり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内の敷地で実際に販売を行い、一般の方と交流する。</li> <li>・ひまわりについて、圃場にて播種を行う。</li> <li>・ひまわりの生育と栽培管理を行う。(かん水、除草、追肥等)</li> </ul>	
7				

9	冬花壇用草花苗の育苗・管理	・パンジー ・ビオラ ・葉ボタン	・播種後の管理を行う。(かん水、通風等) ・冬花壇用草花の生育と栽培管理を行う。(かん水、置肥、殺虫剤、鉢ずらし等) ・冬花壇用草花苗の良い苗と悪い苗の判別について理解する。 ・草花の圃場において、環境整備を行う。(除草、耕うん、堆肥散布等) ・滑河駅前の花壇に、パンジー、ビオラ、葉ボタン等の花苗を植える。 ・体育館前の円形花壇に、パンジー、ビオラ、葉ボタン等の花苗を植える。	・実習ノート 行動観察 ・農具の取扱いができる 花壇の植栽ができる 行動観察 ・販売実習ができる
10	滑河駅前花壇の植栽			
11	体育館前円形花壇の植栽			
12				
1	草花の生産施設・設備について	・サルビア ・マリーゴールド ・ニチニチソウ	・環境制御温室、天窓、側窓の自動開閉について理解する。 ・暖房設備、温湯、電熱線、自動かん水について知る。 ・花壇用草花苗の用土作りを行う。赤土、腐葉土、堆肥の特徴や性質を理解することができる。 ・播種ができるように準備ができる。 ・播種後の管理を行う。(かん水、通風等)	・土作りができる 行動観察 ・播種の準備ができる 実習ノート 行動観察
2	花壇用草花苗の生産準備			
3				

### 3 評価の観点

知識・技術	農業の各分野における総合的な知識と技術を体系的・系統的に理解し、身に付けている。 栽培と飼育、環境等に関する基礎的な知識を理解するとともに、総合的な技術を身に付けている。 栽培と飼育、環境等の基礎的な知識と技術に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決できる能力を身に付けている。
思考・判断・表現	農業の各分野に関する総合的な知識と技術や経営と管理の手法に関する課題を発見する能力を身に付けている。 農業生産工程管理（GAP）に関する必要な知識と技術を習得し、経営や管理における必要な企画力、管理能力、問題解決能力やコミュニケーション能力などを身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	農業の各分野における自らの職業生活について考え、農業の総合的な知識や技術、経営や管理などを理解し、実習内容の記録について、主体的かつ協働的に取り組むことができる。 学校農業クラブの諸活動について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができる。

### 4 評価の方法

「知識・技術」, 「思考・判断・表現」, 「主体的に学習に取り組む態度」, の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ

- ・始めと終わりの挨拶がしっかりできるようにして下さい。
- ・実習中心の科目です。実習に必要な実習服、教具を準備し参加して下さい。
- ・毎時の実習内容、感想、反省を時間内に整理し、実習ノートに記入して下さい。
- ・定期的に実習ノートを提出して下さい。
- ・担当者の指示に従い、安全に配慮して行動して下さい。
- ・集合時間に遅れないようにして下さい。
- ・農具等を使用した場合は、元の場所に返却して下さい。
- ・販売実習の時は、高校生としての言動、態度に十分注意して下さい。
- ・校内農業実物鑑定競技試験は、実習の評価に繋がります。しっかり学習して高得点を目指して下さい。
- ・総合実習は、定期考査がないので、実習中における出席及び取り組み等で評価します。